

飛沫会役員会 議事録

日 時：平成30年1月27日（土）17:00～17:45

場 所：サン・ピーチ OKAYAMA

出 席：カブリ(7)、ヌル(10)、ゼリー(20)、ミミズ(28)、キッパン(31)、
ホーケイ(32)、コメマツ(32)、テツカブト(32)、ブットン(32)、ナメコ(32)、
ゲツケイ(33)、アリ(34)、ワギナ(36)、チクビ(37)、コキタリン(42)、
シャカン(48)、トレモン(48)、イカリン(56)、ギャルパン(67)、
きっこーまん(65)、ののたん(66)、筆ぺん(66)、バタフライ(66)、
(以下現役) バトン(67)、ポルノーシカ(67)、サファエル(67)、
エープラ(67)、うまりたい(68) () 内数字は歴代

【議事1】各支部の体制について

- ・会計は本部に一元化する（支部は会費をストックすることなく、必要な経費は本部会計が都度支給する）。
- ・年会費の徴収、お知らせ文等の発送なども本部に一元化する。
- ・支部の枠組みは残す（インカレ出場の際の応援艇の段取りや現役への差し入れなどを行う）。

【議事2】次回以降記念大会の開催と来年以降の新年会について

- ・記念大会は5年から短縮する方向で、他の事業の頻度も合わせて検討する。

【議事3】オーバーラップ等の情報発信について

- ・おい風通信は、今年度休刊とする。
- ・来年以降、オーバーラップ、おい風通信はホームページやメール配信にできるだけ切り替えていく。

【議事4】75周年記念大会の決算及び現役スナイプ艇購入について

- ・当初スナイプ艇購入を考えていたが、現役の部運営自体が苦しいこともあり、75周年で集まった130万円の使い道を含めて、今後の支援方法を検討する。
- ・現役主将より、部の現状報告（ヨット部の運営費が不足している）。
 - 牛窓までの移動用車両が不足している。部の車1台、部員の車4台で合わせて28名分しかない（部員数34名、4月から新入生も加わる）。早入りとかで現在なんとか対応している。
 - 部員数が多いため、出艇数も多く、セール等の消耗も早い。

○効率の良い練習をするため、救助艇を増やしたい。470、スナイプ、マーク設置等、救助艇3艇が理想である。救助艇1艇では、強風時救助艇がチンの対応に追われると、その間レース艇も待機となり、練習時間がどうしても短くなってしまう。昨年末、九州大学へ見学に行き、救助艇3艇で効率的な練習をしていた。県連の船は5,000円/日で借りることが可能である。

・顧問より、大学からの支援金に関する現状報告

○レース艇や救助艇等の大学への大口のお願いは通らない状況にある。セールなど小口のお願いであれば可能性があるかもしれない。

【会員からの意見】

- ・飛沫会で資金集めを強化する必要がある。
- ・レース艇購入等大口のものは、中長期的に計画をたてて実行する必要がある、また会員への報告も必要である。
- ・130万の使い道について、飛沫会と現役が十分に話して決める必要がある。
- ・年配の会員で免許と車を手放す方もおり、そういう方の車を譲ってもらうのも手段ではないか。
- ・運営委員会はどうなっているのか。積極的に運用してほしい。
- ・ファミリーデーを復活してはどうか。会員とヨット部の関係を密にすることにより、集金率も上がるのではないか。

【役員からのお願い】

- ・黒潮の発行頻度を上げて、広告料等安定収入を得る方法も考えられる。
- ・理事は積極的に自動引落しシステムを宣伝し、安定収入確保に貢献してほしい。